

設立趣旨書

外国人にとって社会が抱える多くの課題への最も有効な解決策は、健康で自立した外国人を増やすことであり、そのために地域社会が担うべき役割はますます大きくなりつつあります。

又、増加し続けている外国人や外国人夫婦にとっては、肉体的な健康のみならず、精神的な健康を維持・向上させるために人との交流が大変重要あり、地域の医療・福祉関係者や住民等の協力を得ながら、さまざまな趣味や活動を通じて楽しく集うことで、閉じこもりを防止し、健康保持のための情報の共有や活動を行える場を作り出すとともに、地域内での見守り体制を構築していくことが必要となります。

一方、これからの複雑な社会においては、健康にも恵まれ、活動的で元気な外国人も増えていきます。これまでの画一的な外国人像を前提とせず、豊富な経験と技能を有する元気な外国人が地域に貢献できる機会をできる限り提供し、外国人自身が地域社会において支えられる側ではなく支える側として活躍することをめざした交流や生きがい活動の場作りも必要になります。

又、外国人が祖国の郷土料理等の伝統技術、文化の伝承などの活動を世代間の交流を行う場を創出することは、外国人の子ども達と地域外国人の生きがい・社会参加の目的のみならず、後継者の育成や就業を促し、地域の活性化へと繋がります。

これらの活動を推進するため、私たちは、セシググローバルサポートとして、実践してきたこれまでの経験を活かしながら、多くの地域住民が自由に参加し幅広い活動や交流が行われる場を創出していきたいと思います。

上記活動を目的とした今後の事業展開と運営基盤を確立させるために法人格を取得し、地域に暮らす人々がともに支えあいながら、安心して暮らしていくことができる地域づくりと、活力あふれる自立した地域社会の構築に寄与することを目指して、NPO法人セシググローバルサポートを設立することとします。

2. 申請に至るまでの経過

令和7年4月 第一回特定非営利活動法人設立に向けて会議開催。理事・監事就任予定者で運営のための骨子案について、又、自分たちが出来ることをテーマにした。

- ・ワークショップの場を提供することについて
- ・外国人及び日本人たちとのコミュニケーション推進の課題と解決案
- ・活動内容の把握
- ・地域との交流を行うための具体的な活動内容
- ・他の団体と協力した発展的活動の協議の仕方等について
- ・インターネット情報発信の取り組みについて
- ・指定管理者制度に基づき、各市町村に対して休館中の施設の実態調査実施について

令和7年5月

第二回特定非営利活動法人設立に向けて運営会議を開催し、具体的に事業計画を作成した。(4名参加)

- (1)ファミリーコーチング事業
- (2)子育てとコミュニケーション推進に関する事業
- (3)家族のためのライフサポートに関する事業
- (4)母親とこどものためのエンパワーメントコンサルタント事業
- (5)第3条の目的を達成するために必要な指定管理者制度に係る施設の管理運営受託事業

以上の内容にて推進する事で決定した。

令和7年5月 第三回特定非営利活動法人設立に向けて運営会議7名。

※設立に向けて、設立発起人会、設立総会準備。設立総会の開催日の決定し、認証申請準備に入り、6月上旬までに行うことで意見の一致を見た。

令和7年5月14日 設立総会開催。

NPO法人セシグログローバルサポートの申請に至る。

令和7年5月14日

NPO法人セシグログローバルサポート

設立代表者

CARPIO ROJAS CELIA CECILIA